

注 意 事 項

1. 試験問題の数は90問で解答時間は正味2時間30分である。
2. 試験問題の持帰りを認めない。
3. 解答方法は次のとおりである。
- (1) 各問題には1から4までの四つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) [問題 101] 県庁所在地はどれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の

101 ① ② ③ ④ のうち ③ をマークして

101 ① ②  ④ とすればよい。

- (2) 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例……  (濃くマークすること。)

悪い解答の例……   (解答したことにならない。)

- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり  のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

- (4) 1問に二つ以上解答した場合は誤りとする。

- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

〔問題 1〕 能動免疫はどれか。

1. γ -グロブリンの与薬
2. 母乳を介した抗体の移行
3. ワクチンの接種
4. 抗血清の与薬

〔問題 2〕 母児血液型 Rh 不適合による溶血で正しいのはどれか。

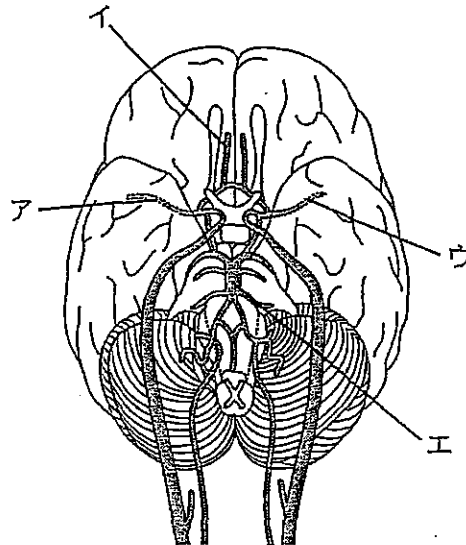
1. 遅延型過敏反応である。
2. 児の自己抗体が溶血を起こす。
3. 治療として血漿交換を行う。
4. 父親が Rh(+) のときに起こる。

〔問題 3〕 心音で正しいのはどれか。

1. I 音は心室が拡張し始めるときに生じる。
2. I 音は僧帽弁と三尖弁とが開く音である。
3. II 音は心室が収縮し始めるときに生じる。
4. II 音は大動脈弁と肺動脈弁とが閉じる音である。

〔問題 4〕 左片麻痺のある脳梗塞患者で閉塞が最も疑われる動脈はどれか。

1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ



〔問題 5〕 運動神経の神経伝達物質はどれか。

1. ヒスタミン
2. セロトニン
3. アセチルコリン
4. アドレナリン

〔問題 6〕 中枢神経系を保護する組織で正しいのはどれか。

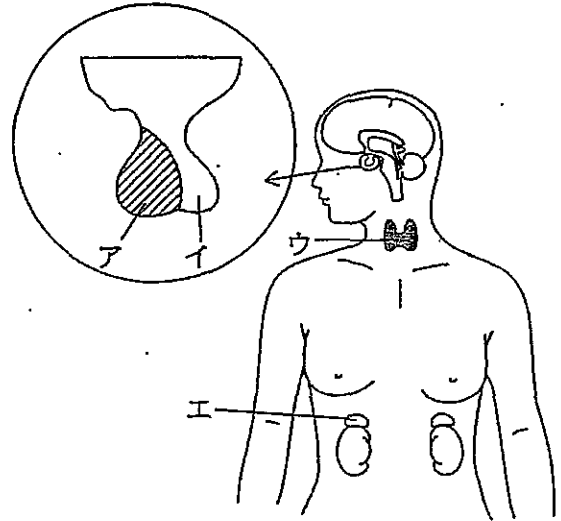
1. 髄膜は外側から硬膜、軟膜、くも膜である。
2. 軟膜下は脳脊髄液で満たされている。
3. 脳脊髄液は脳室の脈絡叢から分泌される。
4. 脳脊髄液はリンパ管に吸収される。

〔問題 7〕 瞳孔が縮小するのはどれか。

1. 睫毛反射
2. 輻輳反射
3. 眼瞼反射
4. 角膜反射

〔問題 8〕 塩辛いものを多く摂取したときに分泌活動が亢進する内分泌器官はどれか。

1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ



〔問題 9〕 骨格筋収縮のメカニズムで正しいのはどれか。

1. カルシウムイオンが必要である。
2. 筋収縮の直接のエネルギー源はADPである。
3. 筋収縮時にミオシンフィラメントの長さは短縮する。
4. 筋収縮の結果グリコゲンが蓄積される。

〔問題 10〕 股関節を屈曲させる筋肉はどれか。

1. 腸腰筋
2. 大殿筋
3. 大腿四頭筋
4. 腹直筋

〔問題 11〕 動脈血中の酸素で正しいのはどれか。

1. 多くはそのままの形で血漿中に溶解している。
2. 貧血では酸素含量は低下する。
3. 酸素飽和度 85% は正常範囲内である。
4. 橈骨動脈の酸素分圧は大腿動脈に比べ高い。

〔問題 12〕 呼吸数を増加させるのはどれか。

1. 脳圧亢進
2. 体温上昇
3. 動脈血 pH の上昇
4. 動脈血酸素分圧 (PaO_2) の上昇

〔問題 13〕 尿細管で再吸収されないのはどれか。

1. 水
2. ブドウ糖
3. ナトリウムイオン
4. クレアチニン

〔問題 14〕 次の文の()内に共通して入る用語で適切なのはどれか。

発生初期に腹腔で生じた()は、胎生後期に腹膜に沿って陰嚢内に下降する。下降が完了せず、腹腔内や鼠径部に留まることもある。これを停留()という。

1. 前立腺
2. 精巣上体
3. 精 索
4. 精 巣

〔問題 15〕 悪性腫瘍の細胞と組織の特徴はどれか。

1. 核/細胞質比が小さい。
2. 核分裂像が少ない。
3. 分化度が低い。
4. 異型性が少ない。

〔問題 16〕 免疫力が低下し感染症に罹患しやすくなるのはどれか。

1. 甲状腺機能低下症
2. 原発性アルドステロン症
3. 高脂血症
4. 糖尿病

〔問題 17〕 輸血による循環器系の過負荷の予防で正しいのはどれか。

- a. 衰弱している患者には全血輸血を行う。
- b. 血圧と脈拍とを頻繁に測定しながら行う。
- c. 心不全患者では中心静脈圧を測定しながら行う。
- d. 副腎皮質ステロイドを予防的に用いる。

1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 18〕 我が国で血友病患者に HIV 感染症/AIDS が多発した理由で誤っているのはどれか。

- 1. 加熱処理された凝固因子製剤の導入の遅れ
- 2. 輸入血漿に由来する凝固因子製剤の使用
- 3. プール血漿からの凝固因子製剤の製造
- 4. 血友病の HIV に対する高感受性

〔問題 19〕 視神経交叉部の下垂体腫瘍による圧迫で生じる視野欠損はどれか。

- 1. 右眼が全く見えない。
- 2. 両眼ともに耳側が見えない。
- 3. 左眼の鼻側が見えない。
- 4. 左眼の鼻側と右眼の耳側が見えない。

〔問題 20〕 副作用として難聴をきたす可能性があるのはどれか。

- 1. マイトマイシン
- 2. リファンピシン
- 3. ストレプトマイシン
- 4. アムホテリシン B

〔問題 21〕 慢性閉塞性肺疾患における在宅酸素療法の目的で誤っているのはどれか。

1. 運動耐容能の改善
2. 肺性心の進行予防
3. CO₂ナルコーシスの予防
4. 精神状態の安定

〔問題 22〕 単純性イレウスで正しいのはどれか。

1. 原因は小腸腫瘍が最も多い。
2. 空腸閉塞は大腸閉塞に比べ腹部膨満は軽度である。
3. 腹部聴診で腸蠕動音はほとんど聴取されない。
4. 治療は手術が第一選択である。

〔問題 23〕 欠乏時皮膚の障害が生じないのはどれか。

1. 葉 酸
2. ビタミン B₂
3. ビタミン B₆
4. 亜 鉛

〔問題 24〕 水腎症を生じないのはどれか。

1. ループス腎炎
2. 前立腺癌
3. 膀胱尿管逆流
4. 神経因性膀胱

〔問題 25〕 22歳の女性。食欲があるにもかかわらず3か月で4kgの体重減少があり、頻脈、発汗、振戦があった。

最も考えられるのはどれか。

1. 一過性脳虚血発作
2. 過換気症候群
3. 大動脈炎
4. 甲状腺機能亢進症

〔問題 26〕 糖尿病で抑制されるのはどれか。

1. 末梢組織でのブドウ糖利用
2. 尿中への水分喪失
3. 肝臓でのグリコゲン分解
4. 脂肪組織での脂肪分解

〔問題 27〕 上腕骨顆上骨折の早期合併症で注意が必要なのはどれか。

1. 腕神経叢麻痺
2. フォルクマン拘縮
3. 偽関節
4. 肺動脈血栓症

〔問題 28〕 子宮内膜症の症状で考えにくいのはどれか。

1. 月経痛
2. 過多月経
3. 不妊
4. 帯下の増加

〔問題 29〕 保健施策とその特徴との組合せで誤っているのはどれか。

1. 新エンゼルプラン ———— 子どもの心の安らかな発達の推進
2. 健やか親子21 ————— 思春期の健康対策の強化
3. 健康日本21 ————— 健康寿命の延長
4. 障害者プラン ————— 社会的自立の促進

〔問題 30〕 我が国の保健医療福祉活動で正しいのはどれか。

1. 憲法による生存権の保障が基本理念である。
2. ノーマライゼーションは疫学的対策である。
3. 医療費の財源のうち国庫負担が最も多い。
4. 保健医療福祉行政は全国均一で行われる。

次の文を読み〔問題31〕、〔問題32〕、〔問題33〕に答えよ。

75歳の女性。一人暮らし。脳梗塞後遺症で左上下肢の不全麻痺が残ったが、機能訓練の結果、利き手である右手で杖をつきながらの歩行が可能となり、自宅での生活ができると判断されたため、退院の検討が始まった。介護認定の調査は受けたが、まだ結果が出ていない。

〔問題 31〕 この時点の退院調整として適切なのはどれか。

1. 介護度が決定するまで入院を継続する。
2. 短期入所サービスを勧める。
3. ケアプラン作成を介護支援専門員に依頼する。
4. 転院できる介護療養型病床を探す。

〔問題 32〕 退院後、訪問看護が開始された。

初回訪問時、最も重要視するのはどれか。

1. 日常生活動作(ADL)
2. 既往歴
3. 家族背景
4. 治療経過

〔問題 33〕 今後予測される問題とその対応策との組合せで誤っているのはどれか。

1. 転 倒 ————— 右側に立って歩行介助する。
2. 便 秘 ————— 水分摂取を促す。
3. 再梗塞 ————— 緊急通報サービスを活用する。
4. 生活意欲の低下 ————— デイケアへの参加を促す。

次の文を読み〔問題34〕、〔問題35〕、〔問題36〕に答えよ。

59歳の男性。上腸間膜動脈血栓症のため小腸大量切除術のあと短腸症候群となり、在宅で中心静脈栄養法(IVH)を夜間間欠投与で実施することになった。看護師はガーゼ、輸液ポンプなどの必要物品とその入手方法を説明した。自営業の再開を目標に近日退院する予定である。

〔問題 34〕 必要物品を提供し在宅中心静脈栄養法指導管理料の請求をするのはどれか。

1. 医療機関
2. 訪問看護ステーション
3. 保険薬局
4. 市町村役場

〔問題 35〕 退院後、入浴時間に合わせて訪問し療養者の入浴手順を確認した。

正しい手順はどれか。

1. ヘパリンロック → カテーテル → 入浴
刺入部の消毒
2. カテーテル → ヘパリンロック → 入浴
刺入部の消毒
3. 入浴 → カテーテル → ヘパリンロック
刺入部の消毒
4. ヘパリンロック → 入浴 → カテーテル
刺入部の消毒

〔問題 36〕 退院後1か月の中心静脈栄養法(IVH)の合併症と観察項目との組合せで適切なものはどれか。

1. 静脈血栓症 ————— 輸液注入速度
2. 栄養障害 ————— 上腕中央周囲径
3. 気 胸 ————— 咳 嗽
4. 必須脂肪酸欠乏症 ——— 体 重

次の文を読み〔問題37〕、〔問題38〕、〔問題39〕に答えよ。

78歳の男性。73歳の妻と二人暮らし。脳梗塞後遺症による嚥下障害のため経鼻胃チューブによる経管栄養を在宅で開始したが、誤嚥性肺炎による緊急入院を繰り返すため胃瘻を造設した。妻が退院指導を受け在宅療養が再開された。

〔問題 37〕 経管栄養に関する妻への指導で適切なのはどれか。

1. 胃瘻チューブ挿入部の観察は看護師に任せる。
2. 流動食の注入後は湯ざましを2ml程度入れる。
3. 流動食の注入後は仰臥位で休ませる。
4. むせたら流動食を中止する。

〔問題 38〕 昨日からひどい下痢が続いていると妻から電話連絡を受けた。

妻に確認する項目で優先度が低いのはどれか。

1. 注入速度
2. 流動食の温度
3. 注入中の体位
4. 注入ボトルの洗浄方法

〔問題 39〕 在宅療養が1か月経過したころから流涎が減少し舌の動きも改善がみられ、座位の保持時間が長くなった。妻や看護師と視線を合わせてうなずいたり、笑顔をみせるといった変化が現れた。「是非、口から食べさせたい」と妻が望んでいる。

妻への対応で適切なのはどれか。

1. 「もうしばらく様子をみましょう。」
2. 「また肺炎を起こすかもしれません。」
3. 「ちゃんと飲み込めるか確認してみましょう。」
4. 「お粥くらいなら食べていただいてもかまいません。」

次の文を読み〔問題40〕、〔問題41〕、〔問題42〕に答えよ。

64歳の男性。喫煙歴は40年間30本/日。2年前に肺気腫と診断され、以後禁煙し薬物療法を行っていた。平地でゆっくりなら50mくらい歩ける。1週前から咳と痰が増え呼吸困難が増悪したため入院した。入院時脈拍数90/分、血圧128/84 mmHg、呼吸数24/分、体温37.5℃、右下肺野に連続性ラ音が聴取される。胸部エックス線所見は肺野の透過性亢進と横隔膜低位、肺機能は1秒率52%である。動脈血ガス分析はpH 7.33、動脈血酸素分圧(PaO₂)65 mmHg、動脈血炭酸ガス分圧(PaCO₂)50 mmHg、息苦しさの訴えがあり食事も少量しか摂取していない。

〔問題 40〕 入院時のアセスメントで正しいのはどれか。

1. ヒュージョーンズ分類Ⅱ度である。
2. 肺炎である。
3. 高炭酸ガス血症である。
4. 肺性脳症である。

〔問題 41〕 入院後、酸素吸入と抗菌薬による治療が開始された。しかし、体温38.4℃で、痰の量が増加した。呼吸困難は改善されず、動脈血酸素分圧(PaO₂)48 mmHg、動脈血炭酸ガス分圧(PaCO₂)64 mmHgとなり、意識障害が出現した。

必要な処置はどれか。

1. 右側臥位によるドレナージ
2. リザーバーマスクによる酸素吸入
3. 人工呼吸器による呼吸管理
4. 間欠的持続陽圧呼吸(IPPB)

〔問題 42〕 呼吸状態が安定し、退院が予定されている。

生活指導で正しいのはどれか。

1. 食事は少量ずつ数回摂取する。
2. 入浴は時間をかける。
3. 運動は階段昇降程度にする。
4. 呼吸は胸式を心がける。

次の文を読み〔問題43〕、〔問題44〕、〔問題45〕に答えよ。

65歳の女性。数年前C型肝炎と診断され、食道静脈瘤も認められていた。2週前より腹部膨満感、尿量減少、倦怠感があり、肝硬変に伴う腹水コントロールの目的で入院した。身長152 cm、体重52 kg(通常時48 kg)、最大腹囲97 cm。入院時の血液検査の結果はHb 9.1 g/dl、アルブミン2.9 g/dl、血中アンモニア127 μ g/dl、AST(GOT)60単位/l、ALT(GPT)27単位/l、総ビリルビン1.2 mg/dl。尿量は800 ml/日であった。ペットボトルのお茶をしきりに飲んでいる。

〔問題 43〕 腹水貯留と関連があるのはどれか。

1. Hb 9.1 g/dl
2. アルブミン 2.9 g/dl
3. 血中アンモニア 127 μ g/dl
4. 総ビリルビン 1.2 mg/dl

〔問題 44〕 検査の結果、内視鏡的硬化療法が行われることになった。

目的はどれか。

1. 癌化予防
2. 狭窄予防
3. 肝性脳症予防
4. 出血予防

〔問題 45〕 食事指導で適切なものはどれか。

1. 塩分 12 g/日以内
2. 蛋白質 30 g/日以内
3. 摂取エネルギー量 1,200 kcal/日以内
4. 水分摂取量 1,000 ml/日以内

次の文を読み〔問題46〕、〔問題47〕、〔問題48〕に答えよ。

34歳の女性。1か月前から倦怠感が徐々に強くなり、時々眩暈もあった。5日前から38℃以上の発熱が続き、倦怠感と歩行時のふらつきがあり受診した。血液検査および骨髄穿刺検査の結果、急性骨髄性白血病と診断された。診断名と化学療法必要性が説明され、患者は急な入院に動揺しながらも治療に同意した。中心静脈栄養(IVH)カテーテルが挿入され、寛解導入療法が開始された。

〔問題 46〕 治療開始前に把握しておく項目で優先度の高いのはどれか。

1. 月経予定日
2. 予防接種歴
3. ステロイド使用歴
4. 平衡感覚

〔問題 47〕 化学療法開始から1週後、白血球 $1,200/\mu\text{l}$ 、血小板4.5万/ μl 、体温36.6℃、胸部エックス線写真上に異常陰影はない。

今後予測される状況で正しいのはどれか。

1. 出血の危険性は低い。
2. 脱毛が起こる可能性は低い。
3. 感染症が発症する危険性は高い。
4. 移植片対宿主病(GVHD)が起こる危険性は高い。

〔問題 48〕 看護師が訪室すると「うがいをすると口の中がしみて痛い。体は相変わらずだるいし食欲もない。食べてないし、歩いてないのでますます弱ってしまう」と言う。

このときの患者への説明内容で適切なのはどれか。

1. 嘔気が強ければ無理して食べなくてもよい。
2. 化学療法が終了したら副作用は消失する。
3. 院内の売店へは行ってよい。
4. 倦怠感が強ければ含嗽はしなくてよい。

次の文を読み〔問題49〕、〔問題50〕、〔問題51〕に答えよ。

52歳の女性。フルタイムの販売員をしている。ある日仕事中に突然右眼の視力低下と視野欠損が起こり受診したところ、網膜剥離と診断され手術のため入院した。黄斑部の剥離はない。右眼視力＝0.04、左眼視力＝0.2。偏食(野菜を食べない)と便秘傾向がある。

〔問題 49〕 医師からの病状および手術の説明を冷静な態度で聞いていたが、病室に戻ると「失明してしまう」「仕事ができなくなる」と言い落ち着きがなくなってきた。

対応で適切でないのはどれか。

1. 説明内容の理解度を確認する。
2. 視力は前より良くなると説明する。
3. 仕事は続けられると話す。
4. 医師の説明内容をわかりやすく説明する。

〔問題 50〕 硝子体内に6フッ化硫黄(SF₆)ガスを注入する手術が行われた。

術直後の体位で適切なのはどれか。

1. 仰臥位
2. 腹臥位
3. 右側臥位
4. 左側臥位

〔問題 51〕 術後のケアで優先度の高いのはどれか。

- a. 身体の清潔
- b. ストレス緩和
- c. 便秘の予防
- d. 会話の促進

1. a、b

2. a、d

3. b、c

4. c、d

次の文を読み〔問題52〕、〔問題53〕、〔問題54〕に答えよ。

63歳の男性。2年前から徐々に排尿困難を自覚するようになり受診した。検査の結果、前立腺特異抗原(PSA)8.0 ng/mlで前立腺左葉に癌が認められたため根治的前立腺全摘除術目的で入院した。入院時の検査結果は、白血球6,400/ μ l、Hb 11.6 g/dl、血清総蛋白 5.6 g/dl、血圧は126/74 mmHgであった。

〔問題 52〕 術後に予測される症状で誤っているのはどれか。

1. 勃起不全
2. 血 尿
3. 尿失禁
4. 女性化乳房

〔問題 53〕 入院後4日に根治的前立腺全摘除術が行われ、膀胱尿道吻合部にドレーンを2本、膀胱内留置カテーテルはバルーンの蒸留水30 mlで留置された。術後2日の検査結果は、Hb 10.2 g/dl、CRP 1.4 mg/dl、血清総蛋白 5.0 g/dl、アルブミン 2.4 g/dlであり、歩行が開始された。

最も注意すべきことはどれか。

1. 呼吸音
2. 創部の状態
3. 尿路感染
4. 高血圧

〔問題 54〕 術後4日、「手術してからずっと尿意が続いている。管を抜いてほしい」と訴えがあった。

対応で適切なのはどれか。

1. バルーンの蒸留水を10 ml 抜く。
2. カテーテルの再挿入を行う。
3. 抜去できない理由を説明する。
4. カテーテルの絆創膏固定を外す。

次の文を読み〔問題55〕、〔問題56〕、〔問題57〕に答えよ。

73歳の女性。半年前に夫と死別し一人暮らし。一人娘は結婚し近くに住んでいる。最近、全身倦怠感や食欲不振、腰痛など体調不良の訴えがあり、心配した娘夫婦と一緒に受診したが、高血圧症を指摘された他に異常は認められなかった。その後も症状は改善せず、頭重感や便秘などが出現し、日中もボーッとして過ごすことが多くなった。また、「朝早くに目が覚め、その後眠れないのでつらい。胸がドキドキするし、息苦しくてなにもできない。娘に心配をかけて申し訳ない」などの訴えが続くため入院した。

〔問題 55〕 入院時のアセスメントで正しいのはどれか。

1. 慢性退行状態である。
2. 夜間せん妄がある。
3. 錯乱状態である。
4. 自律神経失調症状がある。

〔問題 56〕 抗うつ薬による治療が開始された。

副作用の観察で最も優先されるのはどれか。

1. 体動時のふらつき
2. 体重減少
3. 胃部不快感
4. けいれん

〔問題 57〕 午前4時ごろ覚醒し、病室から出て歩き回る様子がみられた。

このときの対応で適切なのはどれか。

1. 就寝時間を遅くするように勧める。
2. 睡眠薬の使用を医師と相談する。
3. ナースステーションで話を聴く。
4. 病院の中庭の散歩を勧める。

次の文を読み〔問題58〕、〔問題59〕、〔問題60〕に答えよ。

75歳の男性。妻と息子夫婦、幼い孫と同居している。大腸癌の術後に肺転移を認め、入退院を繰り返していた。自宅で最期を迎えたいと希望していたが、浮腫、息苦しさ及び全身倦怠感が著明となり入院した。入院時体温 37.0℃、脈拍数 100/分、呼吸数 28/分、血圧 100/72 mmHg、血清総蛋白 5.5 g/dl、Hb 8.0 g/dl。

妻はほぼ毎日面会に来ている。患者は時折開眼し、家族の呼びかけにうなずいている。

〔問題 58〕 入院時のアセスメントで適切なものはどれか。

1. 呼吸困難の増強
2. 大量出血
3. 誤嚥
4. 失見当識の出現

〔問題 59〕 家族への対応で適切なものはどれか。

1. 患者と死について話すことを避けるように説明する。
2. 延命治療について家族で話し合うことを勧める。
3. 看病疲れしないようにケアはすべて看護師が行う。
4. 孫は面会ができないことを話す。

〔問題 60〕 患者に下顎呼吸が始まった。

このときの家族への対応で適切なのはどれか。

1. 死期が近いことを説明する。
2. 自宅で最期を迎えることを勧める。
3. 話しかけても聞こえないことを説明する。
4. 処置時は室外に出てもらう。

次の文を読み〔問題61〕、〔問題62〕、〔問題63〕に答えよ。

80歳の男性。痴呆があり、要介護度3である。訪問看護を週に1回受けている。介護者は75歳の妻で膝関節痛がある。夫は妻の言うことを聞かず何度も同じことを聞いたり、お金や物がなくなつたと騒ぐ。そのため妻は、腹を立てて大声で怒鳴ったり食事を食べさせないことが時々ある。また、夫が昔浮気をしていたことを思い出しては責め、失禁があってもおむつを換えようとしなない。妻は、遠方に嫁いでいる2人の娘に迷惑はかけられないと思っている。

〔問題 61〕 今起きている虐待はどれか。

1. 性的虐待
2. 身体的虐待
3. 金銭的・物質搾取
4. 介護拒否・放任

〔問題 62〕 その後夫は、落ち着かない様子で妻の後ろをついて廻るようになった。

妻は膝関節痛に加え腰痛も強くなっており、不眠も続いている。「夜眠れないとき思い出するのは、夫が昔育児や義母の介護を手伝ってくれなかったことだ」と言う。

利用を検討するサービスで優先度が高いのはどれか。

1. 通所介護サービス
2. 短期入所療養サービス
3. 訪問介護サービス
4. 給食サービス

〔問題 63〕 サービスを利用して妻の疲れは軽減し、少し余裕が出てきたように見受けられた。しかし、虐待の可能性は依然として高い。

この時点の妻への対応で適切でないのはどれか。

1. これまでの自分の人生について語る機会をつくる。
2. 今まで夫を傷つけてきたことに気付けるように関わる。
3. 今後は虐待しないことを約束してもらう。
4. 夫に対する現在の感情を話す機会をつくる。

次の文を読み〔問題64〕、〔問題65〕、〔問題66〕に答えよ。

ペロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌による溶血性尿毒症症候群の2歳児。腹痛と頻繁に血性水様下痢便がみられ転院してきた。医師は「尿が出なくなれば血液透析が必要になる」と説明した。

〔問題 64〕 入院時の看護で適切なのはどれか。

1. 塩分制限は必要ない。
2. 2人部屋に入院させる。
3. ペロ毒素が陰性になるまで遊びを中止する。
4. 体重測定は毎日行う。

〔問題 65〕 子どもの状態のアセスメントで必要度の低い血液検査項目はどれか。

1. 血小板
2. ヘモグロビン
3. 尿素窒素
4. 血糖

〔問題 66〕 入院して1週が過ぎ下痢は改善した。しかし、子どもは母親の姿が見えなくなると大泣きするようになった。

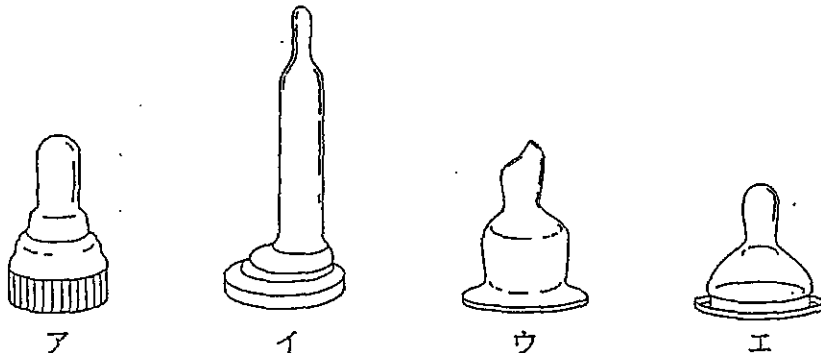
子どもの反応のアセスメントで適切なのはどれか。

1. 人見知りが強くなった。
2. 母子相互作用が未確立である。
3. 母親を安全基地としている。
4. ペロ毒素による脳障害である。

次の文を読み〔問題67〕、〔問題68〕、〔問題69〕に答えよ。

正常分娩で出生した男児。両側完全唇裂と診断された。治療方針として、生後3か月で口唇裂の手術、1歳過ぎに口蓋裂の手術を行う予定である。母親は子どもを抱いたときにはかなりのショックを受けていたが、授乳の練習には熱心で哺乳量も順調に増加した。家族は両親と1歳の姉で、近くに祖母が住んでいる。

〔問題 67〕 使用する乳首で適切なのはどれか。



1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ

〔問題 68〕 退院直前になって母親は「お姉ちゃんがこの子の顔を嫌がるので、3か月後の手術まで入院させてほしい」と訴えた。

母親の反応はどれか。

1. 退行
2. 投影
3. 否認
4. 昇華

〔問題 69〕 1年後、口蓋裂の手術のために入院した。入院中、母親が面会のため毎日通院するので、2歳となった姉は保育所の延長保育を利用している。1週が過ぎたころから、姉は母親が夕食の準備を始めるとぐずり、頻繁に抱っこを求めるようになった。母親は「お姉ちゃんの食事だけでも早く準備したいのに、最近はますます私にまわりついてかんしゃくを起こすこともある」と訴える。

母親への対応で最も適切なのはどれか。

1. 「お姉ちゃんをおんぶして夕食を作りましょう。」
2. 「お姉ちゃんに繰り返し説明しましょう。」
3. 「夕食の準備の間、おばあちゃんに遊んでもらいましょう。」
4. 「このまましばらく様子をみましょう。」

次の文を読み〔問題70〕、〔問題71〕、〔問題72〕に答えよ。

1歳6か月の女兒。両親との3人家族。6か月健康診査時に首がすわっていなかったため専門医の受診を勧められた。様子を観察しながら諸検査を行った結果、最近になって脳性麻痺と診断された。

〔問題 70〕 診断の手がかりとなったのは図の反射であった。

この反射はどれか。

1. モロー反射
2. 手掌把握反射
3. 交叉性伸展反射
4. 非対称性緊張性頸反射



〔問題 71〕 治療・訓練の開始時期で適切なのはどれか。

1. すぐに
2. 首がすわったら
3. 座位ができれば
4. 拘縮が認められたら

〔問題 72〕 まもなくけいれん発作を起こすようになり、入院して抗けいれん薬による治療を受けた。退院時、フェノバルビタールが朝、夕2回/日、抱水クロラール坐薬が頓用で処方された。3か月後のある日の夕方、母親から「今朝の薬を飲ませ忘れてしまいました。退院後けいれんは起きていないけれど、どうしたらよいですか」と電話があった。

対応で適切なのはどれか。

1. すぐに病院へ連れて来るように伝える。
2. 抱水クロラール坐薬を使用するように伝える。
3. 夕方の薬を処方どおり飲ませるように伝える。
4. 忘れた理由を詳細に尋ねる。

次の文を読み〔問題73〕、〔問題74〕、〔問題75〕に答えよ。

52歳の女性、会社員。現在夫と二人暮らし。2人の子どもは親元を離れて暮らしている。約1年前から月経が不規則になってきた。「最近、急に汗が出ますし、肩こりもひどく仕事に集中できません」と訴え外来を受診した。

〔問題 73〕 主訴の原因で考えられるのはどれか。

1. エストロゲンの減少
2. 卵巣刺激ホルモンの減少
3. 黄体化ホルモンの減少
4. プロゲステロンの減少

〔問題 74〕 「大学生になった娘もこのごろは、電話一本かけてきません。子どもがどうしているかと思うと、寂しくって胸がかきむしられるようです。居ても立ってもいられません」と話す。夫は仕事が忙しく、帰宅時間も遅く休日もほとんど家にいない状況であると言う。

女性の状態はどれか。

1. 燃えつき症候群
2. エディプスコンプレックス
3. ヒステリー
4. 空の巣症候群

〔問題 75〕 問診で咳やくしゃみ時に尿漏れがあることがわかった。「この年で尿が漏れるなんて恥ずかしい」と言う。

指導内容で適切なのはどれか。

1. 骨盤底筋体操をする。
2. 排尿間隔を徐々に長くする。
3. 水分摂取を制限する。
4. ガードルを着用する。

次の文を読み〔問題76〕、〔問題77〕、〔問題78〕に答えよ。

22歳の初産婦。妊娠38週2日で2,820gの男児を正常分娩した。母乳栄養を希望し、自律授乳を行っている。乳房の形はⅡa型で短乳頭気味であった。産褥3日、児は乳頭を口に含んだが上手く吸啜できずに泣き出した。吸啜させようとしているうちに啼泣は激しくなった。母親は「突然どうしたんでしょう。夜も寝ないで頑張って授乳してきたのに。私も疲れてしまいました」と看護師に訴えた。乳管開通は良好で、乳房は乳輪部も緊満していた。児のバイタルサインは安定しており、体重は昨日より10g増加し2,715gであった。

〔問題 76〕 児が吸啜できなくなった原因はどれか。

1. 母乳の分泌不足
2. 乳輪部の緊満
3. 乳房の形態
4. 吸啜力の低下

〔問題 77〕 児の哺乳量の指標にならないのはどれか。

1. 体 重
2. 排尿回数
3. 機 嫌
4. 溢乳回数

〔問題 78〕 産褥4日、家族計画についての指導後、「3年間は避妊したいので、コンドームだけでは不安です。お話にあったIUDを使いたいと思います」と話している。

説明で適切なのはどれか。

1. 「IUDの挿入は月経再来後になります。」
2. 「IUDを挿入すると授乳できなくなります。」
3. 「コンドームはIUD挿入後1か月以降必要ありません。」
4. 「IUDは挿入後6か月で入れ替えをします。」

次の文を読み〔問題79〕、〔問題80〕、〔問題81〕に答えよ。

30歳の初産婦。妊娠32週、切迫早産のために入院した。痛みを伴わない3～4分周期の弱い子宮収縮が認められ、子宮口2cm開大であった。塩酸リトドリンの持続点滴静脈内注射が開始され、トイレと洗面以外はベッド上安静である。医師からは、現在の治療を2～3週継続すると説明された。

〔問題 79〕 起こりうる問題はどれか。

- a. 徐脈
- b. 膀胱炎
- c. 便秘
- d. 筋力低下

1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 80〕 治療によって子宮収縮は軽減したが、体動で子宮収縮が増強するため治療を継続し妊娠35週0日を迎えた。胎児の推定体重は2,450gである。

今、出産した場合の新生児の状況で適切なのはどれか。

- 1. アプガースコアは5分後7以下になる。
- 2. 出生直後から抗菌薬を与薬する。
- 3. チューブでミルクを開始する。
- 4. 人工呼吸器なしで呼吸できる。

〔問題 81〕 妊娠 36 週 2 日、2,330 g の児を分娩した。800 ml の弛緩出血があり、分娩直後は児の顔を見ただけであった。分娩 24 時間後、児との面会を楽しみにして看護師と新生児室を訪室した。「他のお子さんと比べるととても小さい気がします」と児を見て涙を流す。「赤ちゃんに触ってみましょう」との看護師の言葉に「壊れそうな気がして」と手が出ない。

看護師の関わりで最も適切なのはどれか。

1. 「今回は帰りましょう」と話す。
2. 「大丈夫ですよ」と児に触ってみせる。
3. 母親の手を引き寄せ、児に触らせる。
4. 母親を座らせ児を抱かせる。

次の文を読み〔問題82〕、〔問題83〕、〔問題84〕に答えよ。

21歳の女性。短大を卒業後親から独立し現在一人暮らし。過干渉な母親から付き合い合っている男性と別れるように言われた。「これからも母親がすべてに干渉してくると思うと何もかもいやになる」と交際相手に訴えた。最近は眠ろうとしても何時間も寝付けず、朝も起きられないため仕事もやめてしまった。食欲はなく体重はこの2週で5 kg 減少したため精神科外来を受診し開放病棟へ任意入院した。入院時患者の身長は160 cm、体重は41 kg である。入院後睡眠薬が処方された。

〔問題 82〕 睡眠障害はどれか。

1. 熟眠障害
2. 早朝覚醒
3. 中途覚醒
4. 入眠障害

〔問題 83〕 入院時の状態はどれか。

1. 摂食障害
2. 適応障害
3. 記憶障害
4. 行為障害

〔問題 84〕 入院時の看護で優先度が高いのはどれか。

1. 母親との関係を詳細に聞く。
2. 心配しないよう説明する。
3. 心身の休息を確保する。
4. 自殺を予防する。

次の文を読み〔問題85〕、〔問題86〕、〔問題87〕に答えよ。

48歳の男性。統合失調症(精神分裂病)の診断で入院し、3か月の治療を受けて退院した。合併症はみられない。アパートで一人暮らしを始めたが、前回退院後拒薬がみられたため、主治医の指示により退院と同時に医療機関の訪問看護部門による訪問看護が開始された。アパートは閑静な住宅地にあり、訪問中にほとんど騒音は聞こえない。訪問の頻度は週1回であった。

〔問題 85〕 患者は退院後常に耳栓をし、訪問看護師が来ると外していた。

この状況の原因で正しいのはどれか。

1. 思考奪取
2. 被影響体験
3. 幻聴
4. 思考吹入

〔問題 86〕 患者は電話を設置することをいやがり、次回の訪問予定は、訪問時に看護師と打ち合わせるようになっていた。ある日、訪問看護の他の対象者が急変して予定が変更になったが、訪問看護師はそれを患者に知らせることができなかった。15分遅れて患者宅に到着したところ、患者はドアを開けようとせず「馬鹿にしているなら帰れ」と怒鳴った。

対応で誤っているのはどれか。

1. 怒りすぎるのは良くないと説明する。
2. 時間に遅れた理由を説明する。
3. 時間に遅れたことを謝罪する。
4. 馬鹿にしているのではないことを説明する。

〔問題 87〕 患者は2週に1回の外来受診の際、「訪問看護は1か月拒否する」と主治医に伝えた。主治医と訪問看護部門のスタッフは、ケースカンファレンスを開いて今後の対応を話し合った。

対応で適切なのはどれか。

1. 拒薬防止のため訪問看護は継続する。
2. 再開を前提に1か月訪問を中断する。
3. 訪問看護は今後適用しない。
4. 至急入院の手続きをとる。

次の文を読み〔問題88〕、〔問題89〕、〔問題90〕に答えよ。

48歳の女性。甲状腺の腫脹を認め、精査目的で内科病棟に入院した。入院時は穏やかで食欲もあった。しかし、同日から不眠になり3日後には病棟内を動き回り、看護師にとりとめのない話を繰り返すようになった。不眠は継続し入院5日には話の内容は誇大的になり、行動面も看護師の話す言葉じりをとらえてはすぐに怒り出すようになった。

〔問題 88〕 受け持ち看護師は主治医に相談し、精神科医に診察を依頼することになった。

この活動はどれか。

1. インフォームドコンセント
2. ケアネットワーク
3. ケアマネジメント
4. コンサルテーションリエゾン

〔問題 89〕 看護で適切なのはどれか。

1. 家族の面会を増やす。
2. 長時間の関わりは避ける。
3. 他の患者との交流を促進する。
4. 行動範囲を拡大する。

〔問題 90〕 精神科医の診察の結果、内科の検査・治療と並行して抗躁薬の内服が開始された。服薬開始1週後、患者が「手が震える」と訴えた。

優先度が高い血液検査はどれか。

- a. カリウム
- b. リチウム
- c. サイロキシン(T₄)
- d. アンモニア

1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

◎ 下記の欄に受験番号および氏名を記入すること。

受 験 番 号	氏 名(楷書で書くこと)